

令和6年度
大阪市NPO・市民活動
企画助成事業

報告書

学習プログラム事例集

まちづくり・市民学習応援コース

子育て・家庭教育応援コース



はじめに

社会の急激な変化に対応し、市民が人間性豊かな生活を営むために、現代的社会的課題や、地域社会の課題解決に向けた主体的な学習機会の創出が生涯学習に求められています。

大阪市では、生涯学習を通じて現代的社会的課題に取り組む市民グループやNPOなどを対象に、地域課題解決の学習プログラムを公募し、実施経費の助成や広報、報告会の開催などの活動支援を行うため、「大阪市NPO・市民活動 企画助成事業」を実施しております。

事業の運営にあたっては、実施団体相互のネットワークづくりに留意し、広く事業効果が得られるよう進めるとともに、成果については、区や地域(教育コミュニティ)で活用できるプログラムとしてとりまとめ、プログラムの活用促進を図っております。

令和6年度はAコース(まちづくり・市民学習応援コース)2団体、Bコース(子育て・家庭教育応援コース)6団体の計8団体に事業を委託しました。

本報告書は、それぞれの団体の取り組みをまとめたものです。本事業が、生涯学習のネットワークの広がりや、市民の生涯学習の新たな展開へとつながることを期待します。

令和7年3月

大阪市教育局
大阪立総合生涯学習センター

令和6年度 大阪市NPO・市民活動 企画助成事業 実施団体・事業一覧

Aコース



まちづくり・市民学習応援コース

団体・グループ名

事業名

『生活の漢字』をかんがえる会

外国人生活者が地域で暮らすための漢字教室

… 4

関西で星を学ぶ会

星を見て宇宙を学ぼう！

… 6

Bコース



子育て・家庭教育応援コース

団体・グループ名

事業名

特定非営利活動法人あゆみらいず

発達障がいのある児童とその家族を支える人のための研修事業

… 8

美術・体育・工作・音楽おやこ教室 実行委員会

大学院生と一緒に楽しもう！音楽・芸術・体育・工作おやこ教室 …10

一般社団法人ニコウェイ

子ども食堂併設 café*nico*

…12

NPO法人IKUNO・多文化ふらっと

みんなでそだてる みんなでそだつ 地域みんなで子育て講座

…14

NPO法人ペットチャルカの広場

夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

…16

速読教室同好会

夏休み特別講座

学校では教えない呼吸法をととして子どものやる気を引き出そう！ …18



外国人生活者が地域で暮らすための漢字教室

『生活の漢字』をかんがえる会

事業の
ねらい

生活で必要となる漢字に焦点を当てた学習を行い、外国人生活者が地域住民として自信を持って社会参加していけるように応援することで、多文化共生社会実現への一助となることをめざす。教室での成果の維持と自己学習の継続につながるよう、毎日の生活の中で学びを重ねられる工夫をする。

対象 外国人生活者

定員 25人

申込
者数 12人

参加
者数 10人
(のべ58人)

1

9/10(火) 9:45～11:45

第1回 漢字の基本を知る

講師 小野木 愛(神戸国際大学 非常勤講師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 8人

2

9/17(火) 9:45～11:45

第2回 ゴミの分別に関する漢字を知る

講師 齋藤 里佳(関西学院大学 非常勤講師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 5人

3

9/24(火) 9:45～11:45

第3回 災害時の避難や避難所で必要な漢字を知る

講師 小野木 愛

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 7人

4

10/1(火) 9:45～11:45

第4回 公共の場所にある漢字を知る(漢字フィールドワーク)

講師 高詰 祐子(一般財団法人海外産業人材育成協会 非常勤講師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター、市内の公共の場所 参加者数 9人

5

10/8(火) 9:45～11:45

第5回 住所

講師 高詰 祐子

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 8人

6

10/15(火) 9:45～11:45

第6回 健康診査

講師 高詰 祐子

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 7人

7

10/22(火) 9:45～11:45

第7回 病院

講師 高詰 祐子

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 8人

8

10/29(火) 9:45～11:45

第8回 まとめ

講師 高詰 祐子

会場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 6人



参加者の声

- 漢字がわかりやすくなりました。生活がやさしくなりました。
- このクラスに参加できてうれしいです。勉強した漢字は日本での毎日の生活にとっても役に立ちます。またこんなクラスがあったら参加したいです。(原文英語)
- 自分の住所が書けます。漢字を勉強すると、生活が変わると思います。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

文化庁の地域日本語教育実践プログラムとして平成18年度より毎年開催していた漢字教室を継続するため、任意団体『生活の漢字』をかんがえる会』を設立して組織を整え、大阪市の助成事業に応募した。漢字教室の講師は、前年度までの漢字教室での教授経験がある専門家に依頼した。また、今後の人材育成も目的として、団体代表の教える大学の学生・院生を補助者として採用した。

事業全体の計画、学習内容・形態について

講師1名・補助者2名と団体スタッフ2名の5名を基本にクラスを運営した。学習テーマは安全や健康、地域住民としてのマナーを軸に選定し、フィールドワークや授業中の活動では、学習した漢字を実際に目にしてもらう工夫を行った。第1回の漢字の基本と第8回のまとめは漢字学習の基本と体系を学ぶことによって、以後の学習継続につながることをめざした。

地域や他団体・組織との連携について

中間交流会にて様々な団体と交流し、チラシの配布を依頼することができた。同交流会では知人が同じく助成を受けた「IKUNO・多文化ふらっと」に所属している事も知った。「ふらっと」の子ども対象の活動にて、保護者向けの漢字教室を開くことなどができないか、今後の連携の可能性をさぐっている。また、漢字教室の活動について考える他市の国際交流協会からの見学があった。

● 事業実施の成果と課題(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

生活の様々な場面で必要な住所記入ができるように、自身の住所の練習を行い、その後の授業でも繰り返し住所を書く機会を設けることで、参加者全員が住所を書けるようになった。入国管理局への申請時に助けを借りず漢字で書けたという声があった。ゴミの分別の回には、ペットボトルの分別やプラスチックの違いなど、不明であったことが明確になったという声があった。

以上のように、漢字とそれに伴う情報の学習により、自立してできることが増えた。行政等によるサービスについても理解し、利用することができるようになった。

● 事業実施後の展望

『生活の漢字』を楽しく学べるこの教室は安心できる居場所にもなっていた。こうした教室を、次年度以降も開催できる方法を引き続き模索していく。具体的には、助成金への応募や、自治体等関係各所への働きかけを考えている。

団体としては、今年度、神戸での漢字教室、岐阜県や茨木市での出前講座などを、団体構成員が協力する形で実施している。このような『生活の漢字』の理念や方法を広める事業を引き続き実施していく。

『生活の漢字』をかんがえる会

活動目的

地域住民である外国人の文字習得支援を通して、本人が自信を持って社会参加することを応援し、多文化共生社会に資する。

活動紹介

特定非営利活動法人多文化共生センター大阪・一般財団法人ダイバーシティ研究所を通じ、文化庁による地域日本語教育支援事業(H18～19・H22)、『生活者としての外国人』のための日本語教育事業(H23～R2)、『生活者としての外国人』のための特定のニーズに対応した日本語教育事業(R3～R5)を受託し、大阪市立総合学習センター協力のもと、毎年漢字教室を開催してきた。同事業にて、養成講座及び出前教室も実施している。令和6年より組織を再編成し、新たに活動をスタートした。

活動開始時期

2024年1月

団体構成員数

9人

団体HP

<https://seikatsunokanji.jimdofree.com/>



星を見て宇宙を学ぼう！

関西で星を学ぶ会

事業の
ねらい

天体望遠鏡で星を見ることは将来、「映画鑑賞」と同等の市場規模に成長すると予測されています。星を見ることは世界の人類共通の感動を生みます。星を見ること、宇宙を学習して理解を深めることで人と人を繋げることがねらいです。

対象

どなたでも

定員

天体観察会250人、
講座30～50人
／各回

申込
者数

269人
(大人202人
子ども67人)

参加
者数

225人
(大人158人
子ども67人)

1

7/20(土) 19:00～20:30
「天体観察会」月、夏の星を見よう

講師 縦山 淳司、大山 久美子、福井 義秀、松生 隆司、伊藤 慧
(関西で星を学ぶ会の望遠鏡担当スタッフ)

会場 浅香中央公園

参加者数 100名



2

8/17(土) 18:00～20:30
「子ども～大人まで楽しめる天文教室」望遠鏡を学ぼう

講師 縦山 淳司(関西で星を学ぶ会代表/大阪市生涯学習インストラクター)

会場 刈田土地改良記念会館

参加者数 18人

3

9/7(土) 14:00～16:00
「天文宇宙講演」変光星で宇宙を調べる

講師 石田 俊人(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 天文科学センター
西はりま天文台 副センター長、准教授)

会場 大阪市立総合生涯学習センター

参加者数 39人



4

9/21(土) 19:00～20:30
「天体観察会」土星を観よう

講師 縦山 淳司、福井 義秀、谷中 義行、岡崎 伊佐夫、伊藤 慧
(関西で星を学ぶ会の望遠鏡担当スタッフ)

会場 浅香中央公園

参加者数 50人



5

10/19(土) 19:00～21:00
「宇宙のおはなしと望遠鏡講座」月、衛星を学ぼう

講師 縦山 淳司

会場 大阪市立総合生涯学習センター

参加者数 18人



参加者の声

- 星や月を見て仲良くなる！が素敵です。
- 望遠鏡、双眼鏡についての詳しい話が良かった。
- 新しい言葉を聴き、天体写真を見て衛星の定義と理解が深まった。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

天文講座(科学館や天文台での講座)や、天文施設の友の会サークル活動から発展して「関西で星を学ぶ会」の主催講座で知り合った仲間在天体望遠鏡を持参するように協力を呼びかけ、望遠鏡やスタッフの確保を行った。

事業全体の計画、学習内容・形態について

- ・天体観望会は申込なし、受付なしの自由参加・自由解散。各回天体望遠鏡を4台～6台を設置した。
- ・講座、講演はホームページからの申し込み制で開催し、講演については外部講師(兵庫県立大学 西はりま天文台)に依頼した。

地域や他団体・組織との連携について

- ・大阪市、住吉区役所、大阪市教育委員会に後援してもらい、広報協力を得ることができた。
- ・Yahoo!(ヤフー)のホームページやケーブルテレビなどの地域ニュースで天体観望会を紹介してもらった。

● 事業実施の成果と課題(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

天体観望会は誰でも天体望遠鏡で星を見ることができ環境を整えた。ただし、晴れたときに参加者数が多いのが課題である。星が見えにくい都市部の環境学習もおこなえた。講座形式では興味がある人には宇宙の理解が深まるが、興味が薄い人には馴染みにくいため、星を見ているときに宇宙に興味をもってもらえる工夫が必要。公園では電力や駐車場代の問題があり、天体望遠鏡は高額であり部品交換をしていかなければならないので、経費や謝礼の問題もある。

● 事業実施後の展望

天体観望会は3月以降「大阪市立荻田南小学校」を会場に、ホームページからの申し込み制で継続予定。集会室で事前学習を開催して宇宙に対して興味が薄い人の関心を高めることを考えている。「独身の若い人のグループ」が子どもにかかわるきっかけになれば(世代間交流)と思っている。

また、本格的な天体望遠鏡を操作できる人材の育成の重視とスタッフ確保(仲間作り)や、理科教育として講座と外部講師の講演を積極的に展開することをめざしている。

関西で星を学ぶ会

活動目的

天体望遠鏡で星が見られない人にも気楽に星が見られる環境を整えること。
理科教育として宇宙を理解すること。
世界共通の星を見て宇宙に興味を深めることで人と人を繋げる。

活動紹介

1. 天体観望会(天体望遠鏡で星を見る)
2. 子ども～大人まで楽しめる天文教室(初心者向け)
3. 宇宙のおはなしと望遠鏡講座(中級者向け)
4. 天文宇宙講演(専門家のおはなし)

活動開始時期

2013年9月

団体構成員数

14人

団体HP

<https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/>



発達障がいのある児童と その家族を支える人のための 研修事業

特定非営利活動法人あゆみらいず

事業の ねらい

事例検討会は「障がいに対する基礎知識がある者」を対象に具体事例を参考に意見交換ができる形での研修会を通じ、児童への適切な専門的支援の方法を学び、知識を具体的な支援に結び付けられることがねらいです。保護者の我が子への理解についてのブラッシュアップや、教員の支援についての実践的な知識として活用してもらうことを想定しています。ギフティッドの講習会は、ギフティッドの概念を広く知ってもらうことを目的とします。防災の研修会は、近年起こりうると言われる南海トラフを想定し、備えておくべき準備や緊急時の支援方法を学びます。

対象

発達障がい児の保護者、
支援者、関心のある方

定員

30～60人
／各回

申込 者数

122人
(大人122人)

参加 者数

111人
(大人107人
子ども4人)

1

7/11 (木) 10:00～12:00

障がい児のための防災を考える～保護者と支援者にできること

講 師 田中 知子(ペアレントトレーニングトレーナー、防災士)

会 場 大阪市立阿倍野市民学習センター 参加者数 17人

2

7/13 (土) 10:00～12:00

事例検討会第1回「発達特性により困り感のある
子どもへの具体例を通した支援検討会」

講 師 伊丹 昌一(梅花女子大学心理学科教授)

会 場 阿倍野区社会福祉協議会 参加者数 13人

3

9/8 (日) 10:00～12:00

ギフティッド講習会第1回

講 師 澤田 伸子(NPO法人あゆみらいず役員)、安道 有菜(公認心理師)

会 場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 15人

4

10/20 (日) 10:00～12:00

ギフティッド講習会第2回

講 師 澤田 伸子、安道 有菜

会 場 大阪市立難波市民学習センター 参加者数 6人

5

11/5 (火) 10:00～12:00

事例検討会第2回「発達特性により困り感のある
子どもへの具体例を通した支援検討会」

講 師 伊丹 昌一

会 場 阿倍野区社会福祉協議会 参加者数 15人

6

11/17 (日) 10:00～12:00

ギフティッド講習会第3回

講 師 澤田 伸子、安道 有菜

会 場 大阪市立阿倍野市民学習センター 参加者数 16人

7

12/15 (日) 10:00～12:00

ギフティッド講習会第4回

講 師 澤田 伸子
吉岡 晶馬(心理士・ギフティッド当事者・医学生)

会 場 大阪市立総合生涯学習センター 参加者数 8人

8

1/7 (火) 10:00～12:00

事例検討会第3回「発達特性により困り感のある
子どもへの具体例を通した支援検討会」

講 師 伊丹 昌一

会 場 阿倍野区社会福祉協議会 参加者数 11人

9

1/19 (日) 10:00～12:00

ギフティッド講習会第5回

講 師 澤田 伸子、安道 有菜

会 場 大阪市立阿倍野市民学習センター 参加者数 8人



参加者の声

- 【防災】講座の内容も大変興味深く、分かりやすかったですし、笑いもあり考えさせられるところもあり、すごく勉強になりました。
- 【事例検討会】学校の先生の話や、保護者目線の話も聞くことが出来て有意義だった。勉強になった。
- 【ギフティッド講習会】ギフティッドの困り事が分かった気がします。命と心を守るという言葉が響きました。



学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

「今知りたい情報」が提供できるよう、周囲にアンテナを張っていたことで、今年は障がい者のための防災講習会が出来たことは良かったと思う。開催時以降も災害が相次ぎ、「参加しておいて良かった、心の安心が担保された」という意見が聞かれた。

その他は、昨年度も実施したプログラムだったので、スムーズな体制で実施できたと思う。飛び込みで申込なく来られる人もいたので、多めにレジュメを用意した。一方的ではない、参加型の講習会にしたかったので、来られた方々が緊張せず発言できるよう、やわらかい雰囲気になるよう気を付けた。

事業全体の計画、学習内容・形態について

話がもっと聞きたいからと複数回参加して下さる方もいたので、講演も全く同じにならないよう、体験談にも変化をつけ工夫した。また、その日によって、支援者が多かったり、保護者が多かったりと違いがあったので、事前に出来る範囲で、参加者の経歴やお子さんの年齢などヒアリングしまとめ、それを踏まえて内容にも変化を付けるように心掛けた。

地域や他団体・組織との連携について

12月に入り、インフルエンザなどの流感が出だしたことで、申込数が減りキャンセルも相次いだため、普段から連携をとっている発達障がい支援団体（港区、天王寺区、住吉区、堺市）との繋がりも利用し告知活動に努めた。また、今年は、阿倍野区子育て支援協議会主催で開催された「不登校児」のイベントにも力を入れて活動していたので、そこでもチラシを配った。

● 事業実施の成果と課題（地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか）

発達障がい児の支援をしている中で、少しずつではあるが、知的発達症やASD（自閉スペクトラム症）、ADHD（注意欠如多動症）、SLD（限局性学習症）に関しての理解は以前より深まってきているように感じる。ただ、軽度やHIGH・IQと呼ばれる人達への支援の輪はなかなか広がっていない。今回は、理解者がおらず社会にうまくコミットできない参加者（お子さんとその保護者、また、成人した大人）が目立った。講演会終了後も、講師の周りに残り、「話をもっと聞きたい」「私たちの交流の場を作って欲しい」「どうやって生きていけばいいかわからない、もっと勉強したい」という要望がたくさん出た。

● 事業実施後の展望

今回の事業実施で、発達障がい・ギフティッドへの理解が深まるだけでなく、当事者たちの抱える問題が表面化し要望がより具体的になったことは大きな収穫だったように思う。私たちは、今まで通り、発達障がい児とその保護者、支援者を支える活動を行い、教育、福祉、医療、家庭をつなげ、孤立や二次障がいを防ぐための活動を続ける。ただ、この体験を経て、これからの活動に「居場所を作る」という目標も加え来年度よりプロジェクトを始動したいと思っている。

特定非営利活動法人あゆみらいず

活動紹介

- ①発達障がい児の特性に応じた学習法や生活習慣改善への相談事業
- ②発達障がい児の保護者、支援者の情報交換などの交流事業
- ③発達障がいについて理解を深めるための研修事業

活動目的

この法人は、発達障がい児、不登校児の子育て支援に寄与する。発達障がいにくられる様々な症状や特性を持つ子どもに対し、正しい接し方や支援方法を学ぶ。保護者が所属する学校などで十分な情報が得られず孤立してしまうことを防ぐため、保護者間で情報交換や相談ができる場所を提供する。子どもの生活面、学習面、コミュニケーション面での「生きづらさ」との向き合い方、特性への専門的な知識、具体的な対処法を、勉強できる会を実施し、支援のやり方を考える。
また、地域の福祉活動や教育活動等にも積極的に取り組み、地域の中で発達障がい児者だけでなく皆が彩り豊かに暮らせる社会を実現していくことをめざす。

団体
構成員数 45人

活動開始
時期 2022年7月

団体
HP <https://ayumirise.jimdosite.com/>



大学院生と一緒に楽しもう！ 音楽・芸術・体育・工作おやこ教室

美術・体育・工作・音楽おやこ教室 実行委員会

事業の
ねらい

- ①大学院生が持つそれぞれの専門性を活かし、子どもたちが普段は経験できない体験を提供することで「大学」と「地域の子どもたち」を繋げる
- ②親子で参加してもらうことで、子育てや家庭教育の応援を行う
- ③親子で行うプログラムの企画・実施を通して、大学院での学びをさらに深める

対象

親子

定員

10～140人
／各回

申込
者数

196人
(大人111人
子ども86人)

参加
者数

155人
(大人84人
子ども71人)

1

7/27(土) 13:30～16:00

親子で世界にひとつだけのぬいぐるみをつくろう！

講師

松元 理央(大阪教育大学大学院教育学研究科学生)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 10人

2

8/3(土) 13:30～16:00

親子で世界にひとつだけのぬいぐるみをつくろう！

講師

松元 理央

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 15人

3

8/4(日) 10:00～11:30

親子で一緒に！ふれあい運動教室

講師

野口 和紗/安本 慎也/安井 颯太/川上 樹香
(大阪教育大学大学院教育学研究科学生)

会場

STUDIO FOREST LIVE

参加者数 6人

4

9/7(土) 14:00～16:00

公園の木でおもちゃをつくろう！

講師

米地 徳行(NPO法人木育フォーラム理事長)
安宅 弘美(独立行政法人住之江公園管理事務所)
宮崎 明子(大阪教育大学大学院教育学研究科学生)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 17人

5

10/27(日) 15:00～16:00

泣いても動き回っても大丈夫！ゆりかごコンサート

講師

荒瀬 美佳、庄崎 弘夏(クラリネット)
遠田 大翔(ホルン)住野 光理(ピアノ)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 107人



参加者の声

- 親子で一緒にできる作業でとても良い時間だった。
- 子どもの自由な発想を大切にのびのび制作させていただき、とても楽しい時間でした。
- 手頃な料金で赤ちゃんと一緒に聴ける演奏会はなかなかないので嬉しかったです。ぜひまた開催して欲しいです。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

大阪教育大学大学院生が主体的に行える事業とは何かを検討し、各学生の専門分野を活かしながら実施できる体制を構築した。組織としては、総括的にまとめる代表、広報としてSNSを運用する担当、チラシのデザインや発注の担当、各講座のリーダーなどで構成し、タスクの分担を図った。

事業全体の計画、学習内容・形態について

親子でのワークショップとして、参加者が楽しみたい内容を安全に楽しむことができるようにということに焦点を当てた。その上で、SDGsや昨今の社会状況を認識し、それらを解決するために必要な教育を楽しく安全に実践できるよう企画した。今回は各講座でそれぞれのメンバーの専門知識が十分に活かせるよう、4つの分野で講座を実施することにした。

地域や他団体・組織との連携について

今回、特に第4回の木の講座において地域・他団体との強い連携を図ることができた。地域の公園管理事務所に伐採予定についての相談をし、廃棄される前の伐採木のうち状態の良いものを譲り受け、趣味で木工をしている地域の高齢者の方に木材加工をご協力いただいた。また、NPO法人木育フォーラムから、木の加工や子どもにとって安全なおもちゃ作りについてご助言をいただき、当日の講座でも木についてお話しいただいた。

● 事業実施の成果と課題 (地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

教育大学の大学院生が主催する講座ということで、親子を取り巻く課題について強く意識した。共働き・ひとり親の家庭の増加などで昔に比べて親子で過ごす時間や環境が減少していることから、①親子で一緒に何かに取り組む機会や共に過ごす時間の提供 ②休日の居場所、お出かけ先の提供 という視点を意識していたが、アンケートの回答などからも十分に成果を上げることができたと感じている。また、開催した4分野それぞれの課題に対しても一定の成果を上げることができた。

一方で、集客に関しては非常に頭を悩ませ、最終的にはメンバーのネットワーク頼りになってしまっていたなど課題が残った。このような講座は悩みや問題を抱える親子にこそ参加して欲しいと感じており、そのような親子にどのようにアプローチするかが課題であると考えている。

● 事業実施後の展望

今回の事業に参加したことで多くのことを感じ、経験することができた。それらが無駄にしないよう、まず参加者のアンケート結果やメンバー同士のフィードバックを元に本事業の評価を行い、改善点を洗い出す必要がある。そして、それと日々変化し続ける社会状況とを照らし合わせ、さらなる課題解決に向けて事業を展開していきたい。

この事業実施で得られた経験や人間関係を活かし、次年度以降も継続して講座の企画に取り組んでいきたい。

美術・体育・工作・音楽おやこ教室 実行委員会

活動目的

さまざまな専門知識を持つ大学院生が集まり、地域の住民を対象にそれぞれの専門性を活かした幅広い分野の講座を開くことを目的としている。社会的な背景やニーズ・課題を考慮、分析し、子どもの発達を促しながら、親子が共に楽しめるための活動内容の実践をめざした。

活動紹介

今回の企画助成事業に参加するため、大阪教育大学大学院の有志の学生で当団体を設立した。大学院では生涯学習や社会教育を学修し、公民館や生涯学習施設等で実施する事業について多角的な視点から検討、立案、実施している。

活動開始時期

2024年1月

団体構成員数

10人

団体HP

https://www.instagram.com/oyako_club_osaka/ (Instagram)



子ども食堂併設 café*nico*

一般社団法人ニコウェイ

事業の
ねらい

コロナ禍で子ども食堂が激減したタイミングで活動を開始し、地域社会と一緒に子育てできるようなコミュニティを確立し、孤立せず安心して暮らせる市となることをねらいとして活動しています。

対象

小・中学生

定員

子ども食堂併設
イベント120人
ワークショップ各3~8人

申込
者数

ワークショップ66人
(大人21人・子ども45人)

参加
者数

子ども食堂併設イベント443人
(大人214人・子ども229人)
ワークショップ65人
(大人20人・子ども45人)

1

~

4

7/21(日)、9/15(日)、
11/17(日)、1/19(日) 11:00~14:00

子ども食堂併設イベント

(カレーの配食・縁日・フードパントリー等)

講師 一般社団法人ニコウェイ及びボランティア他
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 443人

5

7/21(日) 10:00~11:00

ベトナムで大人気!毛糸の花束

講師 ズオン トゥイ チャン(ベトナム人留学生)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 2人

6

7/21(日) 12:00~13:00

大人も子どももはまる!【香るスライム作り】

講師 古木 ちえこ(エッセンシャルオイルスタイリスト)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 6人

7

7/21(日) 14:00~15:00

スイーツデコにチャレンジ!

講師 Mellow(ハンドメイド雑貨店オーナー)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

8

9/15(日) 10:00~11:00

乳児~低学年の保護者向け 絵本と言葉がけで遊んでみよう!

講師 こまだ えみこ(コーチングサポート講師)
堤添 祥子(ぴよん吉文庫)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 10人



参加者の声

- ワークショップを子どもが楽しめて、親はリフレッシュでき、いい時間を過ごせました。
- 明るい雰囲気、スタッフの方もとても親切で良かったです。
- フードパントリーやワークショップ、縁日を楽しみにしています!

9

9/15(日) 12:00~13:00

お風呂時間が楽しくなる【Happy バスボム作り】

講師 古木 ちえこ
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 6人

10

9/15(日) 14:00~15:00

初めての「茶道体験」チャレンジしよう!

講師 津田 加珠美(寺子屋たんぽぽ)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 0人

11

11/17(日) 10:00~11:00

カラフルな楽器を作ろう!

講師 絵空イロ(イラストレーター)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

12

11/17(日) 12:00~13:00

Myスノードームを100均材料作ろう!

講師 堤添 祥子
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 7人

13

1/17(日) 14:00~15:00

アンブレラマーカ作りワークショップ

講師 橋村 珠実(書家・イラストレーター)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

14

1/19(日) 10:00~11:00

ママ・パパ楽しくリフレッシュ!おやこヨガ

講師 山下 菜津美(ヨガ講師)
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 6人

15

1/19(日) 12:00~13:00

お正月遊びの定番!自分だけのコマを作ろう

講師 堤添 祥子
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

16

1/19(日) 14:00~15:00

好きな香りでつくるアロマスプレー作り

講師 古木 ちえこ
会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 8人

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

ボランティアスタッフ10名ほどと事業を実施し、毎回問題点や気づいたことなどを聞いて改善を行った。保護者が縁日で遊ぶ子どもに付き添いやすい環境づくりなど、前回よりスムーズに実施ができるよう工夫した。また来場者の方にも毎回アンケートにご協力いただき、感想や次回への改善点、やってほしいことなどを聞いて縁日の内容を充実させたり、リユースのおもちゃを増やすなど実施内容に取り入れるようにした。

事業全体の計画、学習内容・形態について

ワークショップの内容は、子どもが楽しめることはもちろん、親子で一緒に楽しめるような内容になるような内容を考え企画した。

地域や他団体・組織との連携について

今年度も引き続き地域の回覧板へのチラシの挟み込みと掲示板へのポスターの掲示をお願いし、町会の方と連携をとりながら活動周知にご協力いただいた。

● 事業実施の成果と課題 (地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

開催の回を追うごとに子どもたちへの無料のカレーの配食数が増えていっており、開催の必要性和成果を感じている。フードパントリーや古着・玩具のお譲りは、地域の方からの提供品も少しずつ増えているため、継続して地域への呼びかけをし、必要としているご家庭へ必要な物資が行き渡るように地域をつなぐ役割を担っていききたい。

● 事業実施後の展望

子ども食堂に来る子どもたちに色々な経験をしてほしい、親子で楽しい時間を過ごしてほしい、という思いで事業を実施した。子ども食堂イベントで無料のワークショップを実施することによって、普段はできないような経験ができ、その経験によって子どもたちが色々なことに興味をもつことにつながる学びの場を作っていきたい。



一般社団法人ニコウェイ

活動
目的

孤立せず安心して暮らせるコミュニティ作り

活動開始
時期

2021年7月

団体
構成員数

15人

活動
紹介

子ども食堂併設イベントを2ヶ月に1度開催

団体
HP

<https://r.goope.jp/nicoway>



みんなでそだてる みんなでそだつ 地域みんなで子育て講座

NPO法人IKUNO・多文化ふらっと

事業の
ねらい

子どもの貧困、少子高齢化、外国ルーツ住民の増加などが進む生野区で、「子育ての孤立化」を防ぐために、「子育ての社会化」をめざす。広く地域全体に参加を募り、本企画を通して地域全体で子育てする意識づくり、地域の子育て支援のモチベーションを高め、子どもに関わる上で必要な最低限の知識の定着を図る。

対象

子育て中の方、
子育て支援に関わる方、
テーマに興味のある方

定員

30人
／各回

申込
者数

73人

参加
者数

66人
(うちオンライン29人)

1

7/17(水) 19:00～20:00

子どもと関わる上で知っておきたい
“性・セクシュアリティ”のこと

講師 松田 直美 (NPO法人KARALIN 代表)

会場 いくのコーライズパーク 多目的室(オンライン配信あり)

参加者数 22人



2

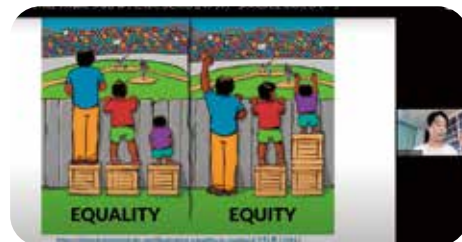
10/19(土) 10:00～12:00

外国につながる子どもたちとのかかわり方
ー多文化共生をめざしてー

講師 山田 文乃 (立命館大学講師)

会場 いくのコーライズパーク IKUNO・多文化ふらっと事務所(オンライン配信あり)

参加者数 28人



3

1/18(土) 10:00～12:00

子どものSOSに気づく一歩
～「子どもの権利」から～

講師 北野真由美 (NPO法人えんぱめんと堺/ES代表)

会場 いくのコーライズパーク IKUNO・多文化ふらっと事務所(オンライン配信あり)

参加者数 16人



参加者の声

- 先生の話が分かりやすく、ディスカッションをしながら自分自身の考えや無意識的な部分に気付きました。また、クエストが多く、沢山考えながら、他の意見を聞いて多様な視点を得ることが出来たのも大きかったです。
- 最近子どもに関わる企画に携わるようになり、非常に興味があるテーマで学びたいと思い参加いたしました。講師のお話の内容は、全てにわたり、気になっている点について具体的な対応やその根底にある考え方についてわかりやすく経験値も交えてお話しいただきました。また、考えが及んでいなかったところも、気持ちや体を通じて多々学ぶことができました。
- 社会は変化し続けており、自分の子ども時代と比べて、今の子どもが抱える問題も複雑になっているように思いました。子どもがなぜその行動をするのか具体的な事例も多く教えていただき、とても理解しやすかったです。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

団体内の「こどもの学習サポート及び居場所づくり事業」や「ボランティアコーディネート」に関わるスタッフを中心に日々現場で感じることを持ち寄り、内容検討を行った。進行においては、オンライン同時配信の事前シミュレーションを入念に実施した。

事業全体の計画、学習内容・形態について

子育て支援の現場での経験や講演歴の豊富な講師に講座を依頼した。講座内では、講義だけでなく、参加者同士の話し合いやワークショップを重視し参加者の理解を深める工夫を行い、参加者の学び、気づきの機会とすることができた。

地域や他団体・組織との連携について

日頃からつながりのある団体のみならず、大阪市生野区内の子育て支援団体へ情報を共有し、参加を呼び掛けた。また近隣の子どもの居場所にチラシ設置と周知を依頼した。

● 事業実施の成果と課題 (地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

ボランティア活動に参加する退職者世代や大学生も参加し、子どもに関わる大人たちが、自らの日々の体験と講座の内容を照らし合わせながら参加することで、日常の活動での悩みを解決する場になったという感想が寄せられた。単発開催の講座だったが、複数回参加する参加者もあり、地域で子どもを見守る意識がさらに強化されたと思われる。また、66人の参加があったが、今後はより多くの人に参加してもらうための工夫が必要である。

● 事業実施後の展望

今回の講座開催によって得た経験を今後の研修や講座開催に積極的に生かしていく。今後も年3回の講座・研修会を団体内外の人たちを対象に行っていく、地域全体の子育て支援のモチベーションの維持・向上に活かしていく。特に参加型ワークショップや参加者同士のディスカッションは、講座内容の理解に非常に効果的であったので、今後も積極的に導入を図りたい。

NPO法人IKUNO・多文化ふらっと

活動目的 住民の5人に1人が外国籍住民である大阪市生野区において誰もが暮らしやすいグローバルタウンの実現をめざし、活動している。

活動紹介 学習サポート教室(小～高校生)、日本語学習サポート、子ども食堂など子どもに関わる事業を中心に行いながら、市民向け図書室・農園の運営、多文化イベントの開催、多言語相談、外国ルーツの若者の進学・就労支援、外国ルーツの母親のための日本語クラスなどを行っている。

活動開始時期 2019年6月

団体構成員数 事務局スタッフ15人

団体HP <https://www.ikunotabunkaflat.org/>



夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

NPO法人ペットチャルカの広場

事業の
ねらい

糸つむぎを通してワタが糸になり、衣服になる繊維資源であることを体験し、未来にわたってワタの栽培環境を守ることの重要性を学習する。

対象

小学3年生以上の児童
およびその保護者

定員

20人
／各回

申込
者数

39人
(大人16人
子ども23人)

参加
者数

39人
(大人16人
子ども23人)

1

8/2(金) 13:30～16:00

夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

講師

大西 佐代子(八尾糸つむぎ愛好会 代表)
明神 敬一(NPO法人ペットチャルカの広場 理事長)

会場

大阪市立総合生涯学習センター

参加者数

11人



2

8/7(水) 13:30～16:00

夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

講師

大西 佐代子
明神 敬一

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数

15人



3

8/8(木) 13:30～16:00

夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

講師

大西 佐代子
明神 敬一

会場

大阪市立難波市民学習センター

参加者数

7人



4

8/9(金) 18:00～20:30

夏休み自由研究 大阪のワタでつくる糸電話

講師

大西 佐代子
明神 敬一

会場

大阪市立総合生涯学習センター

参加者数

6人



参加者の声

- 身近なワタが糸になるようすがわかってよかった。
- 糸電話で話してみることが新鮮でした。
- 糸をたくさん紡いで布にしたいです。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制、組織づくりについて

募集チラシを区役所・図書館への配架に加えて、小学校にも郵送し、広報に努めた。

事業全体の計画、学習内容・形態について

日本で初めての糸つむぎの機械であるガラ紡のミニチュアを見学する機会を作り、回して引っ張るという糸つむぎのコツを速やかにつかんでいただけた。保護者の皆さんのサポートもあって全員が糸つむぎができるようになった。

地域や他団体・組織との連携について

「八尾糸つむぎ愛好会」様の協力を得て、ワタの下準備や各種道具の手配、講座資料の作成をすすめることができた。

● 事業実施の成果と課題 (地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

衣服をはじめとする繊維資源の中でワタへの依存が約23%と多く、世界中で人々の手により栽培されていることとともに、未来に向けて綿花栽培が継続できるよう環境保全の大切さを伝えた。

大阪では綿花栽培・綿製品の加工流通をすすめてきた伝統も紹介し、各回の事業の最後にはつむいだ糸で「糸電話」を制作した。参加者からは「むずかしい」という声が多かったが、全員が「糸電話」を完成し、通話を楽しんだ。成功体験とともにワタから糸ができることを実際に体験できたものと思う。

● 事業実施後の展望

参加者にワタの種を配布し、ワタ栽培の段階から観察することでワタの成長を学び、世界中で広く栽培されていることを知識として身に付けてほしい。

また、ペットチャルカ(ペットボトルで出来た糸車)の普及を通して糸つむぎにかかる手間を身をもって体験し、衣服の貴重さを学んでいただきたい。

NPO法人ペットチャルカの広場

活動目的 特定非営利活動法人ペットチャルカの広場は、人々に対して、コットンの低農薬有機肥料栽培およびペットチャルカによる糸つむぎの普及啓蒙に関する事業を行い、環境の保全と伝統技術の継承に寄与することを目的とする。

活動紹介 トヨタ産業技術記念館での親子糸つむぎ体験の開催
大阪市立山之内小学校での生涯学習事業の開催
全国コットンサミット(R5)での講演など

活動開始時期 令和2年8月

団体構成員数 12人

団体HP <https://petcharkha.org/>



夏休み特別講座

学校では教えない呼吸法をとおして 子どものやる気を引き出そう！

速読教室同好会

事業の
ねらい

読書や表現の楽しさを体験してもらうことを目的とする。本を読むときの呼吸やアウトプットのトレーニングの学習を通して集中力の向上や自己表現のスキルを育み、創造性を高めることで、子どもたちが将来の学業や生活で活かせる幅広いスキルを養う。

対象 小学生

定員 20人

申込
者数 19人
(子ども19人)

参加
者数 16人
(子ども16人)

1

7/29(月) 10:00～13:00

「夏休み特別講座

学校では教えない呼吸法をとおして子どものやる気を引き出そう！

～速読体験と絵本作り～」

講師 梶原 豊(一般社団法人速読マイスター協会 代表理事)
板東 悦子(子どものアトリエ 絵画講師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター

参加者数 16人



参加者の声

- 速読や絵本作りなど、今の学校ではなかなか教わらないことを体験させていただきとても良い経験になりました。
- ゼロから物を創り上げていくことが苦手な子どもたちですが、取り組むことに意義があるなと思いました。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

- ・開催に当たっては講師やメンバーと密に事前打ち合わせを行い念入りに準備を行った。また、当日の運営を潤滑に行えるような人員配置を考えた。
- ・参加者が楽しみながらスキルを向上できるように意識して実施した。

事業全体の計画、学習内容・形態について

講座の前半は呼吸法を学び、集中力を高めるトレーニングや速読のトレーニングを体験した。後半は、トレーニングで向上したアウトプットのスキルを活かし、オリジナルの絵本作りをした。

地域や他団体・組織との連携について

市内の子育て支援施設などに協力を仰ぎ、事業内容の告知やチラシの設置など、活動を知ってもらうきっかけとした。

● 事業実施の成果と課題 (地域の課題解決や現代的課題、社会的課題の解決につながったか)

- ・市内の公共機関などに講座チラシの設置依頼をしたことで、幅広い地域からの申込みがあった。
- ・今回の講座は、呼吸の方法や速読の体験をした後に絵本作りを実施する長時間の講座だったが、子どもたちは意欲的に最後まで集中して楽しく取り組んでいただくことができた。
- ・事業名から企画の内容が分かりにくく、認知・広報活動での周知が上手くできなかった。チラシは一目で内容がわかる工夫が大切だと実感した。

● 事業実施後の展望

- ・速読や絵本作りに興味を持ってくださったので、これからも体験できる機会を作っていきたい。

速読教室同好会

活動目的 本団体の活動は、メンバー同士が知識やスキルを共有し合い、集中力や読解力、アウトプット力を高めること、新しい読書技術や学習法の探究と実践によりメンバーの学習体験を豊かにし、知的成長を促すことを目的とする。

活動紹介 定期的に速読教室を開催し、速読方法や速読に関する様々なトレーニング、知識を学び実践している。

活動開始時期 2024年2月

団体構成員数 5人

団体HP なし

中間交流会



令和6年8月24日(土) 10:00～12:00

実施団体同士の交流を目的として、各団体の事業計画や「団体の強み・得意なこと」「活動の困りごと」「他の団体に聞いてみたいこと」などをテーマにグループで交流・情報共有をおこないました。



参加団体の感想・コメント

- 大阪市のボランティア団体が活発的に活動されているお話をうかがって、モチベーションが上がりました。うちも頑張ります。
- 実際に活動されている方たちに直接お話を聞くことができて良かったです。
- 他団体の取り組みや悩み事を知れて、似た悩みを共有したり、参考になる活動をされていて自身の活動に活かしたいと思った。

実施報告会



令和7年2月15日(土) 10:00～12:00

今年度の実施事業について各団体より報告を行い、今後の活動について有識者よりアドバイスをいただきました。



参加団体の感想・コメント

- 他の実施団体の方から話を聞いただけでなく、委員の先生方や教育委員会からの講評も聞けて良かった。
- 色々な分野で活動されている団体の工夫や悩みを知る事が出来て良かった。共感する部分も多く大変参考になった。
- 時間の都合上仕方ないが、もう少し詳しく聞きたいと思う活動ばかりだった。

大阪市「市民学習プログラム企画」 助成事業募集について

大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業の募集のご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民情報センター・図書館等で配架予定の募集パンフレットをご覧ください。

※令和7年度より大阪市NPO・市民活動企画助成事業から事業名称が変更となりました。

大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業ホームページ

<https://osakademanabu.com/josei/>



大阪市立総合生涯学習センター SNS

<https://www.facebook.com/sougoullc/>



Facebook

https://www.instagram.com/sougou_llc_umeda/



Instagram

<https://line.me/R/ti/p/%40090wcmun>



LINE

令和6年度 大阪市NPO・市民活動 企画助成事業 事業実施の流れ[実績]

- 募集受付…………… 令和5年12月1日(金)～令和6年2月7日(水)
- 個別相談…………… 令和5年12月1日(金)～随時対応
- 有識者会議…………… 令和6年3月22日(金)
- 実施団体への説明会…………… 令和6年4月13日(土)
- 事業の実施…………… 令和6年7月1日(月)～令和7年1月31日(金)

【助成団体の取り組み】

- ・企画・実施の準備
- ・チラシの作成・広報、受講者募集の受付
- ・講座等の実施
- ・アンケート回収
- ・報告書類の作成・提出

【総合生涯学習センターの支援】

- ・実施経費の助成(委託対象経費の75%以内で上限20万円まで)
- ・「いちよう並木」や「いちようネット」への記事掲載などの広報協力
- ・総合生涯学習センターや阿倍野・難波の市民学習センターの会場確保
- 中間交流会の開催…………… 令和6年8月24日(土)
- 報告会の開催…………… 令和7年2月15日(土)

お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 (大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和6年度 大阪市NPO・市民活動 企画助成事業 報告書

編 集 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発 行 大阪市教育委員会

発行日 令和7年3月



大阪市教育局

大阪市立総合生涯学習センター

(指定管理者: 大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)